

科目名	公衆衛生看護学演習Ⅲ Public Health Nursing SeminarⅢ		担当教員 (研究室番号)	清水 真由美 (407) 中北 裕子 (404)		教員への連絡方法 (メールアドレス)					
履修年次	1年次 後期	科目区分	専門科目	選択区分	コース 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業形態	演習	科目等履修生	否
科目目的	自己の取り組む研究テーマについて、研究計画書を作成することができる。										
ディプロマ・ホルダー(DP)	主要なDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追究していける研究能力を身につけている。									
	関連するDP	1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。									
到達目標	1. 公衆衛生看護学領域の研究において用いられる理論や研究方法を理解することができる。 2. 自己の研究テーマの研究疑問と仮説を明確にすることができる。 3. 研究テーマに適した研究デザインや研究方法を選択し、説明することができる。 4. 研究の倫理的配慮の指針を理解し、自己の研究に適用できる。 5. 研究計画書を作成することができる。										
成績評価方法 (基準)	プレゼンテーション(40%)、レポート(40%)、演習に取り組む姿勢(20%)										
教科書	福原 俊一：リサーチ・クエスチョンの作り方 第3版, 健康医療評価研究機構, 2015 松村真司, 福原俊一：概念モデルを作る, 健康医療評価研究機構, 2016 Pamela J. Brink, Marilyn J. Wood：看護研究計画書 作成の基本ステップ, 日本看護協会出版会, 2006										
参考書等	資料・参考図書は随時紹介する。										
受講者へのメッセージ	計画的に、積極的に演習に臨んでください。										
備考	授業方法は、担当教員および履修者と相談の上決定する。公衆衛生看護学演習Ⅰ、Ⅱ終了後に開講する。										
回	学習項目			学習内容				主担当教員	授業方法		
1回	オリエンテーション			本科目の概要を説明する。 研究計画書の作成から倫理審査までの過程を概観する。				清水	未定		
2回	研究疑問の書き方			研究疑問について検討する。				清水	未定		
3回	研究疑問の構造化 (PICO, PECO)			よい研究疑問とは何か、研究疑問の構造化について検討する。				清水	未定		
4回	研究疑問から課題へ			研究課題、概念モデルについて検討する。				清水	未定		
5回	最終的な研究課題			研究課題について検討する。				清水	未定		
6回	研究の目的を述べる			研究目的について検討する。				清水	未定		
7回	用語を定義する			用語の定義について検討する。				清水	未定		
8回	研究デザイン1			研究デザインについて検討する。				清水	未定		
9回	研究デザイン2			研究デザインについて検討する。				清水	未定		
10回	研究方法について			地域の健康課題に対する質的研究の活用について検討する。				中北	未定		
11回	研究計画書の作成1			研究計画書作成の意義、作成上の注意点、よい研究計画書の条件について、参考図書をまとめて発表する。				清水	未定		
12回	研究計画書の作成2			自分の関心領域の研究論文(原著)の緒言の内容を分析して発表する。緒言の内容について検討する。				清水	未定		
13回	研究計画書の作成			文献レビューを通して、研究テーマに関する基本概念(関連要因図の作成を含む)および背景(既知・未解決の内容)を整理し、まとめる。				清水	未定		
14回	研究における倫理的配慮について			自己の研究において必要な倫理的配慮について発表する。研究の実施における倫理的配慮について検討する。				清水	未定		
15回	研究計画書の発表			作成した研究計画書(緒言・研究方法まで。概念モデルを含む)を発表し、内容について、討議する。				清水 中北	未定		